



し ょ う な ん め ー る

SHONAN
湘南鎌倉総合病院広報誌

Mail

Number 130
2018 January

新年のご挨拶 湘南鎌倉総合病院 院長 篠崎 伸明

- ◆新任ドクター紹介 呼吸器内科部長 野間 聖
- ◆『介護の日』湘南鎌倉 Festival!!
- ◆おんころ通信 Vol.4
- ◆なかよし保育園 うたのプレゼント
- ◆小児科クリスマス飾り
- ◆14階病棟 血液内科 クリスマスコンサート
- ◆前島 崇忠 連載企画 Vol.3『松』





湘南鎌倉総合病院 院長 篠崎 伸明

SHONAN KAMAKURA G.H. Hospital Director
NOBUAKI SHINOZAKI

謹

賀

新

年

2018年

新年のご挨拶



当院ヘリポートからの「初日の出」

地域の皆様の健康を守るために

あけましておめでとうございます。当院も山崎から当地に移転して早8年が経とうとしています。生命だけは平等だという徳洲会の理念を愚直に実践し続け、開院以来、救急を断らない医療を行ってまいりました。昨年は年間13,000件を超える救急車の受け入れ、40,000人を超える救急外来患者さんの受け入れを行っており、本年も24時間365日、病院の機能を余すことなく発揮し、地域の皆様の健康を守りたいと思います。近隣のホームドクターや病院との連携も円滑に行われるようになりました。病病連携、病診連携において、お互いの顔の見える関係が築かれてきて、患者さんの受け入れや当院からの紹介も増えつつあります。鎌倉、逗子、葉山、横須賀医療圏における当院の役割を十分に認識しながら、地域の医療機関や開業医の先生方との連携をさらに深めていきたいと思っています。本年から救命救急センターの拡充・外傷センター・先端医療センターの工事も本格的に始まります。患者さんや近隣の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしますが、病院の機能を落とさずに、安全第一で工事を進めていく方針ですので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新たなことへ挑戦し続ける病院でありたい

また、旧病院跡地では湘南鎌倉医療大学の建設も始まります。2020年の看護学部1期生の受け入れに向けて準備も順調に進んでいます。さらに本年は4月から、40名の初期研修医、専門医、専攻医、80名の新卒看護師を受け入れます。当院は教育病院としての大切な役割も担っており、患者さんのご理解、ご協力のもと将来の地域医療に貢献し患者さんのために寄り添うことができる医療者を育てて頂いております。この場を借りて改めて御礼申し上げます。引き続き本年もよろしくお願いいたします。当院でのがん登録患者数(新規登録者数)が年間2,000人を超え、県内でも有数のがん治療を行っている病院となりました。手術治療、抗がん剤治療、ホルモン療法、放射線治療などすべての治療手段を整備しております。また、緩和医療にも力を入れておりチームで取り組んでいます。今後は先端医療センターにおける包括的がんセンター構想に向けてさらに多くの患者さんを受け入れていく予定です。

当院は移植医療にも力を入れています。すでに60名の患者さんが当院で腎移植をお受けになっており、今年は約30件の腎移植が予定されています。最近では透析医療を受ける前に移植を行う患者さんが増えてきており、治療成績もさらに向上しています。一方、臓器提供病院としてはまだ不十分な実績で、本年はご希望の入院患者さんにドナー登録のご説明を積極的に行う予定です。どうぞ、日本の移植医療の発展のためにご協力をお願いします。

本年は徳洲会が創立45周年を迎えます。当院は徳洲会グループの旗艦病院としてグループをけん引していくとともに、今後も地域に必要とされる医療機関でなくてはなりません。そのために私たちの基本理念を実践し、常に社会貢献を第一に考え、医療者としてのリーダーを育て、患者さんのためになることであれば、いつも新たなことへ挑戦し続ける病院でありたいと願っています。本年もよろしくお願い申し上げます。



救命救急センター・外傷センター・先端医療センターの完成予想図



Director of Pulmonary Medicine

Satoshi Noma

呼吸器内科部長 野間 聖

—Doctor's—
VOICE

ドクターから患者さんへ

新任ドクター紹介 × 呼吸器内科部長 野間 聖

ごあいさつ

2017年11月から呼吸器内科に赴任致しました、野間聖と申します。生まれから大学まで、鹿児島で過ごしました。一生鹿児島で暮らすことになりそうかなと思っていましたが、学生時代に沖縄県立中部病院で研修された先生に出会ったことがきっかけとなり、聖路加国際病院で内科研修医として初期研修を行い、将棋の藤井四段の出身地で有名になりました、愛知県瀬戸市にある公立陶生病院で呼吸器内科の後期研修を行いました。その後、母校の鹿児島大学に戻り、基礎研究を行った後、亀田総合病院に勤務し、この度、湘南鎌倉総合病院に勤務することとなりました。

呼吸器内科医として

呼吸器内科の中でも、間質性肺炎に以前から興味があり、日本でトップクラスの間質性肺炎診療を行っている公立陶生病院で後期専門研修を行いました。また、トロンボモジュリン(※DIC「播種性血管内凝固症候群」の薬)を開発した丸山征郎教授と、オートファジー(2016年のノーベル生理学医学賞を受賞)とインフラマソーム(※炎症の病態の一つ)の研究をされた齊藤達哉教授の御指導を頂き、免疫を中心に基礎研究を勉強しました。現在は、間質性肺炎やCOPDなどの肺の線維化性疾患や肺癌を中心に、呼吸器内科全般の診療を行っています。

医療技術の進歩に驚くとともに、患者さんの治療向上に貢献できることを嬉しく思っています。

以前は治療の選択肢がほとんどなかった間質性肺炎や肺癌に対する分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬などの新薬が開発されています。基礎研究の際に学んだ免疫の考え方が臨床にも応用できるようになってきており、医療技術の進歩に驚くとともに、患者さんの治療向上に貢献できることを嬉しく思っています。

一方、自分が研修医の時代には存在しなかった薬や治療方法が開発されてきているため、一層勉強に励む

ことが大切で、医師は一生勉強が必要だということを楽しみ感じています。また、座学で本を読むだけではなく、実際の患者さんを診察して勉強させて頂くことが最も勉強になると思っており、若い先生の指導の際にもそのことを強調しています。今後は、当科を診療および研修医教育において、日本トップクラスの呼吸器内科にすることを目標にしています。皆様方の御協力を頂ければ幸いです。

Private Talk

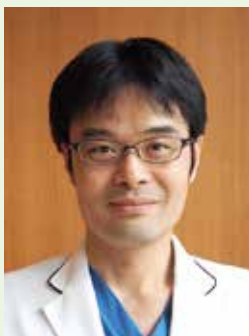
学生時代はバスケットボールをしていました

が、一時期体重が20kg増加したことがありました。ダイエットのために近所のジムに行ったところ、トレーナーの方がボディビルダーで、熱心に指導してもらったこともあり、何故かベンチプレスはMax 125kgを上げるようになりました。また、体脂肪率を10%まで落としたことがありますが、この時、一番効率が良いダイエット方法は、食事制限（特に糖質制限）だということを知ったのですが、糖質制限をすると、気分が暗くなり、非常に辛い思いをしたため、患者さんにダイエットをなさいと簡単に言えなくなってしまいました。

現在、武蔵小杉に住んでおり、人生初の電車通勤をしています。下り方面はあまり混んでいないため、飲み会の時に終電を気にすること以外はストレスなくできています。



【10年以上前に鹿児島で撮影した子供の写真です。背景に桜島とフェリーが写っています。最近は相手にしてもらえません……】



野間 聖 (のま さとし)

- 2000年 鹿児島大学医学部卒業
聖路加国際病院・内科レジデントとして初期研修を開始
- 2003年 聖路加国際病院・内科チーフレジデント
- 2004年 公立陶生病院 呼吸器・アレルギー内科にて後期専門研修を開始
- 2006年 鹿児島大学にて呼吸器内科および基礎研究を行なう
- 2015年 亀田総合病院 呼吸器内科
- 2017年 11月～湘南鎌倉総合病院 呼吸器内科

『介護の日』湘南鎌倉 Festival!!

いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう

去る2017年11月11日(土)に当院で『介護の日』湘南鎌倉 Festivalが開催されました。当イベントは「介護の日」にちなんで地域総合医療センターが主催となり、患者さんや地域にお住まいの方に対して地域医療・介護・福祉の啓発を目的として行われており、今回で3回目の開催となりました。そもそも11月11日は厚生労働省が平成20年より「介護の日」と定めており、高齢化が進む中で、介護を身近なものとして、介護に関する理解や認識を高めることを目的に、国民の自己啓発を促す日として設けられています。この日は「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」を念頭に、「いい日、いい日」にかけた、覚えやすく、親しみやすい語呂合わせということから、11月11日が介護の日になったそうです。



当日は1階で薬剤師・管理栄養士による相談コーナーや福祉用具・リハビリロボットの展示が行われ、来場者の方の日頃の疑問や、福祉用具の使用方法などを専門のスタッフが丁寧に説明を行いました。2階では介護用品や栄養剤、排泄ケア商品の紹介が行われていました。また正面玄関では介護車両の展示と、実際の医療・介護の現場で活躍するセラピードッグの紹介があり、来場者の方や病棟の入院患者さんがその愛らしい姿を見て癒されていました。



「この地域で最期の時を迎えるのに使える制度について知ることができた!」「セラピードッグを見て元気になりました!」「自分の知らないサービスが多くて驚きました!」〈皆様の声より〉

3階講堂では第一部、第二部に分かれて基調講演が行われ、地域総合医療センター副センター長の権藤学司副院長の挨拶のあと、午前中には「笑顔で健康に過ごすために～介護される方もする方も～」をテーマに管理栄養士・言語聴覚士・理学療法士の講演や、その他オムツ業界の業者の方から排泄ケアの講義と実演がありました。午後には「自分らしく住み慣れた地域で最期まで過ごすために～最期を過ごしたい場所はどこですか～施設・病院・ホスピスの特色を紹介」をテーマとして医療ソーシャルワーカー・医師・訪問看護師から講演がありました。講演の中には座学以外にもご自宅でできる運動や体操、介護の仕方など実技を行うものもあり、来場者の方にもとても好評でした。来場者の方からは「この地域で最期の時を迎えるのに使える制度について知ることができた」、「セラピードッグを見て元気になりました」、「自分の知らないサービスが多くて驚きました」といった感想を頂きました。今後も当院はこの地域の方々が病気やけがをしても住み慣れた地域で暮らし続けられるように、様々な面からサポートしていきたいと思えます。

普段皆さまが抱いてる疑問に

湘南鎌倉

地域総合医療センターのスタッフがお答えします!



Q.1 地域総合医療センターってどんな部門?

A. 医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・事務職員が、在宅ケア・病院・施設間連携を主に 行う部門です。外来通院、入院、退院に関するご不安や問題を、患者さん・ご家族のお考えや病状 に沿って対応させていただきます。

Q.2 退院調整室看護師って何をしているの?

A. 医療依存度が高くても、住み慣れた地域で過ごしたいと希望される患者さんや支えるご家族に、在宅療養や療養型病床への退院に関するご支援をさせていただいております。退院後の暮らしについて、できるだけ患者さん、ご家族の安心につながるよう医療・ケアに関する必要な医療支援やサービスとつなぎます。

退院調整室
秋山 美代 室長



訪問
隈元 一美

訪問
立花 純子

訪問
田畑 恵子

Q.3 医療ソーシャルワーカー (Medical Social Worker) って?

A. 保健医療機関において 社会福祉の立場から 患者さんや、その家族の力での抱える 経済的・心理的・社会的問題の解決 調整と適切な 社会復帰の促進 を 図る業務を行います

医療相談室
笹本 枝里 係長



野島 奈緒美
副主任

見上 康弘
副主任

平野 志穂

柘植 克真

澤田 愛

近藤 壮磨

12月23日、別館講堂にてオンコロジーセンター主催の クリスマスコンサート〈がんサロン拡大版〉を行いました。

今年はオンコロジーセンター長の下山医師並びに放射線腫瘍科の田山医師からの講演と、職員によるコンサートの二部制で行いました。開場直後から多くの患者さんにご来場いただき、「今年も楽しみに参りました」という声も多く聞くことができました。ささやかではありますが、また皆様が楽しめる企画をこれからも続けていきたいと思っております。



第一部

- ①はじめの挨拶 オンコロジーセンター看護師 中崎 令子 主任
- ②「がんの診断と治療～最近の話題～」
オンコロジーセンター長 下山 ライ医師
- ③「つらい症状にさようなら～放射線腫瘍科医の立場から～」
放射線腫瘍科 田山 由美子医師

第二部

- ①クリスマスコンサート
- ②終わりの挨拶 オンコロジーセンター長 下山 ライ医師



1月20日(土)

がんサロン

〈定例〉第3土曜日(祝日除く)14～16時

2階21番オンコロジーセンター待合室

●参加費無料・事前申込不要・自由参加 ●対象:患者さんとそのご家族

〈はじめの30分に〉医療ソーシャルワーカーによるミニレクチャー付

『家での療養ってできるの?』

医療ソーシャルワーカーの立場から

講師:医療ソーシャルワーカー 野島 奈緒美 副主任

がん体験者の語りの場です。お時間があれば
ふらっとお越しください!

12月21日木曜日になかよし保育園の園児 約20名が、うたのプレゼントを届けました

園児たちの一生懸命歌う姿を見届けようと、当院エントランスには多くの職員が集まりました。集まった職員からは、「かわいい歌声に癒されました」、「お揃いの帽子をかぶった子どもたちが可愛かった」など嬉しい声を聞くことができました。

なかよし保育園 園児 うたのプレゼント



発表後、お母さんと笑顔でハイタッチを交わす園児たち。



小児科クリスマス飾り Merry Christmas 2017



当院の小児科では、季節毎にスタッフが手作りした飾りを外来ブースに装飾しています。今回はその一部をご紹介します。12月はクリスマスということで、プレゼントを持ったかわいらしいサンタさんの飾りや、天井からはクリスマスツリーをかたどったオーナメントや雪の結晶が飾られています。また、診察室前の壁には大船こどもクリニックの葉山正陽院長から寄贈されたクリスマスリースがあり、診察前の子どもたちを優しく見守っています。受診する患者さんからも「毎回、かわいらしい飾りを見て、親子ともに癒されています」といった感想を頂いています。今後も患者さんが少しでもリラックスして頂けるような、季節に合った飾り付けを続けていきたいと思っています。



14階病棟

血液内科 クリスマスコンサート

12月22日（金）血液内科の病棟である当院 14 階病棟にてクリスマスコンサートが開催されました。血液内科の病棟では、白血病や悪性リンパ腫をはじめ、重い病気で長期の入院を強いられる患者さんが多く、「少しでも心安らげる時間を提供したい」との声から企画されました。今年は血液内科医師や 14 階病棟の看護師、事務職員を中心に清泉女学院中学高等学校管弦楽部の生徒さんのご協力を頂き、クリスマスコンサートを行う運びとなりました。今回のコンサートは、数日前から病室やデイルームに告知のポスターを掲示しており、患者さんたちからは「演奏会が楽しみです」と多数の声を頂いていました。当日病棟では、朝から生徒さん受け入れの準備をし、午後には生徒さん約 40 名が到着。生徒さんたちは、患者さん手作りのクリスマス飾りを身につけていました。



バイオリンソロ

楽器の説明をしてきました

弦楽器の
繊細な音色

コンサートの冒頭では血液内科 玉井 洋太郎部長と14階病棟の中山 美加師長から開会の挨拶があり、生徒たちの演奏が始まりました。クリスマスソングが数曲演奏され、曲と曲の間には楽器についての説明もありました。患者さんやご家族も感動され、中には涙を流されている方もいらっしゃいました。演奏終了後も、患者さんからは、「楽しかった」「いい気分転換になりました」「クリスマス気分が味わえました」などの感想を頂きました。今回は清泉女学院の生徒さんたちや沢山の病院関係者の方の協力のもと、コンサートを開催することができました。次回からも、患者さんが楽しんで頂けるようなイベントを病棟スタッフで考えていきたいと思えます。

14階デイルームにて開催



感動して涙をながす患者さんも



玉井 洋太郎 部長

中山 美加 師長

「クリスマスコンサートを終えて」 血液内科秘書 村松有香

当日は朝からの準備で大変でしたが、生徒さんの一生懸命演奏している姿、喜んでくださっている患者さんの姿を見て「開催して良かった」と思うことができました。どの子も堂々と演奏していて素晴らしいクリスマスコンサートでした。



本館越しの青空に映える「松と松ぼっくり」

入職後に私が病院内で観察している鳥や動植物について院内で紹介したところ、色々な方から問い合わせがあり、この「しようなんメール」にてご紹介をすることになりました。院内に息づく季節が感じられる「花鳥風月」を紹介いたします。

まえじま たかのり
前島崇忠 連載企画

湘鎌 **花鳥** かちょう
ふうげつ **風月**

<Beauties of nature>

湘南鎌倉総合病院
敷地内の自然を
ご紹介します!



一年の始まりの正月は、鏡餅のダイダイ等の縁起のよい植物が各家庭に飾られます。その中でも筆頭の**マツ（松）**を今月は紹介します。

日本では新しい年の神様「歳神さま」をお迎えする門松を玄関に飾る習わしがあります。歳神さまは門松を目印にその家に訪れ、その年が息災であるよう邪気を払います。神が降り立つものを「依り代」と言います。マツは古から依り代の木とされ、日本人には特別な木とされています。その語源はその下で神を「まつ」ことから生じたとする説があります。神の到着を待ち、神を祀り、神を迎えて祭りを行うことから、「待つ」「祀り」「祭り」の語源はマツに由来すると言われています。日本では7種、地球上で100種類ほどの野生種が確認され、太古から栄えてきた植物です。

また古くから私たちの生活にも欠かせない松は杭として東京駅丸の内駅舎を100年以上支え、荒地でも生息する植生で海辺に植えられた松は景観を白砂青松とかえ、実は食用となり、炭や薪として燃料、その煤は松煙と呼ばれ墨や塗料、樹脂の松脂（まつやに）は滑り止め、生薬、香料として用いられ、若葉を砂糖水に浸して作るサイダーがあります。

当院では松は計15本、大船工業技術高等学校が開学した以前から生息し、院内で最も高く聳え立つ植物です。「15」という数字を東洋思想では縁起のよい完全なものと捉えます。15階建ての本館と15本のマツは何か所縁があるのかもしれない。『徒然草』の「節に「大路のさま、松たてわしわたして、花やかにうれしげなるこそ、またあはれなり」とあります。皆様にとりまして、今年一年がよい年となりますように。



128号で特集したエナガと松



世界最大「シュガーパインコーン」の松かさ④
日本最大「大王松」の松かさ⑤



本館北西側に生息

医療法人 沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院



〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370番1

TEL 0467-46-1717(代表) FAX:0467-45-0190

ホームページアドレス: <http://www.shonankamakura.or.jp>

(直通)健康管理センター:0467-44-1454 人工膝関節センター:0467-46-7172

しようなんメール 編集・発行:湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会

SHONAN KAMAKURA

GENERAL HOSPITAL

